

内排水路の事故が二度と起こらないよう安全対策に取り組みます。

また、幼稚園及び小中学校の施設環境整備として学校施設の修繕や消防設備の改修、安心・安全な給食環境整備などを実施します。

平成23年度は、沖繩振興特別措置法および沖繩振興計画が最終年度を迎えることから、沖繩の将来を左右する転機の年であります。

沖繩県は、これまでの国主体の振興計画から県主体の「沖繩21世紀ビジョン」を策定し、「これからの沖繩振興のための制度提言」に取り組んでおります。沖繩が地理的優位性を発揮し、アジアのダイナミズムな発展を沖繩経済に活かすことが求められています。

「地域住民は、自ら暮らす地域のあり方について自ら考え、主体的に行動し、その行動と選択に責任を負う」という地域主権の理念は、これからの時代においてその重要性は一層増しているものと考えます。

さて昨年度は、興南高校の甲子園春夏連覇とHYのNHK紅白歌合戦への出場、また、7月

に開催された全国高等学校総合体育大会「美ら島沖繩総体」では、相撲競技の団体の部で中部農林高等学校が見事準優勝の栄冠を勝ち取り、市民に喜びと感動を与えてくれました。

一方、米軍普天間飛行場の移設問題では、本市勝連沖への移設反対をはじめ、4月に開催された「米軍普天間飛行場の県外・国外移設を求める県民大会」においては、大勢の市民が共に参加し、基地のない平和な沖繩の実現に向け、その思いを国内外へ発信いたしました。

また、南米チリ地震に伴う太平洋沿岸への津波警報や10月の集中豪雨による事故は、身近な安心・安全なまちづくりの重要性を強く認識いたしました。

まちづくりには市民の皆さまをはじめ、自治会などの地域組織や関係団体、民間事業者、そして市議会など多くの方々の連携が何よりも重要であります。

私は、本年度も「うるま市はひとつ市民協働のまちづくり」に向け、全力で市政運営に取り組む所存であります。

## 2. 平成23年度の予算規模

次に、平成23年度予算案について、その概要を申し上げます。

平成23年度の予算編成については、うるま市行政改革大綱及び実施計画、また枠配分方式による予算編成を基本

に、限られた財源を効果的に活用するべく予算編成に努めました。

その結果、本年度の一般会計予算は、432億5,168万1千円となり、前年度に比べ0.9%の増となっております。

また、特別会計予算は、国民健康保険が170億6,708万3千円、後期高齢者医療が7億4,542万9千円、介護保険が76億2,095万円、公共下水道事業が22億1,691万4千円、農業集落排水事業が1,684万7千円で、公営企業の水道事業会計予算は、33億6,887万5千円となっております。

従いまして、本市の総予算規模は、一般会計、特別会計及び水道事業会計を合わせた742億8,777万9千円であります。

## 3. 主要事業の概要

続きまして、平成23年度主要事業の概要について、総合計画に掲げた5つの基本目標に沿って説明いたします。

### 第1人と自然にやさしい基盤と環境を育てます

進してまいります。

島しょ地域には多くの宝があります。その宝とは、海に囲まれた自然環境、歴史と伝統文化に彩られた島の生活風景であります。それらの宝は、滞在・体験・交流型観光で求められている要素であり、これからの観光において、島しょ地域はますます重要になってくるものと考えております。私は、地域住民の皆さまをはじめ、関係団体とも連携を図り、島しょ地域の振興に取り組んでまいります。

「東海岸開発構想」については、現在策定している基本計画に基づき、平成23年度は事業化に向け取り組みを進めてまいります。

市道については、勝連2-52号線ほか10路線の継続事業を進めるとともに、新規事業として与那城16号線道路整備事業に着手するほか、計画的な道路橋の維持管理のため長寿命化修繕計画の策定に取り組み、主要道路網や生活道路の整備を進めます。

また、国・県の建設事業については、引き続き事業の推進に積極的に協力し、整備促進を要請します。

街路については、石川西線、安慶名3区線及び4区線、兼箇段高江州線の各道路改築事業を継続して推進します。地域情報化については、地域インターネットの安定稼働に努めるとともに、行政情報化については情報ネットワーク